

2019 年度事業報告

2019 年度は、財団設立 10 周年後の最初の年度として、国連が定めた持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)の達成に一層貢献するため、各事業への取り組みを進めました。

具体的には、カンボジア、モンゴル、ミャンマー、ネパール等の開発途上国における教育・ICT 環境の整備支援を中心とした国際協力事業、ICT 関連の調査研究に対する助成、青少年の啓発・育成支援の助成、国内外の留学生への助成を中心とした助成事業、2018 年度に創設された KDDI Foundation Award に代表される表彰事業などを推進しました。

一方、新型コロナウイルスの全世界での感染拡大に伴い、第 4 四半期においては、日本でのチャリティコンサートや海外での各種イベント等が延期或いは中止を余儀なくされましたが、次年度以降の実現に向け、対応を進めることとしていますので、合わせてご報告します。

I 組織と運営状況

1. 組織

(1)役員・評議員

役員は 10 名 [別紙 1：役員名簿]、評議員は 11 名 [別紙 2：評議員名簿] です。

(2)審査委員

審査委員は 13 名 [別紙 3：審査委員名簿] です。

(3)会議の開催状況

理事会を 3 回、評議員会を 1 回、審査委員会を 2 回、それぞれ開催しました。

[附属明細書 資料 1：会議の開催状況]

II 事業活動

1. 助成事業

(1)調査研究助成

ICT が拓く豊かな未来社会をテーマとし、ICT の普及・発展、グローバル化、ICT を利活用した社会的課題の解決に寄与する調査、研究（技術、産業、制度、社会、文化等）に対する『調査研究助成』は、公募による募集・審査の結果、45 件の応募に対し、「社会的課題の明確さ」、「具体的な創造価値」、「新規分野の開拓」、および「グローバル研究」などを審査し、9 件について合計 2,699.6 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 2：調査研究助成]

(2)社会的・文化的諸活動助成

ICT を通じて社会、教育、環境等の課題解決や地域社会の国際化の促進に貢献する各種の非営利団体（NPO）・非政府組織（NGO）の活動、ならびに開発途上国における教育、文化、生活支援等に関する活動に対する『社会的・文化的諸活動助成』は、公募による募集・審査の結果、19 件の応募に対し、4 件につき合計 370 万円の助成を、『継続型社会的・文化的諸活動助成』は、1 件の応募に対し 200 万円の助成をそれぞれ行いました。

[附属明細書 資料 3：社会的・文化的諸活動助成]

[附則明細書 資料 4：継続型社会的・文化的諸活動助成]

(3)国際会議開催助成

ICT の普及・発展に寄与する国際会議に対する『国際会議開催助成』は、公募による募集・審査の結果、は、14 件の応募に対し、情報通信の普及・発展への寄与度、先端性等を審査し、8 件につき合計 300 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 5：国際会議開催助成]

(4)日本人留学生助成

日本から海外に留学する者で、法律、経済、社会、文化、技術の各分野において国際的視野に立ち、社会に貢献するテーマで研究を行っている大学院生を対象とし、指定する 43 大学に推薦を依頼し、14 名の候補者から 2 名を選考し、合計 960 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 6：日本人留学生助成]

(5)語学留学助成

2016 年度より、日本とミャンマーおよびその周辺国の発展に寄与することをめざし、ビルマ語を習得する大学生を対象として支援してきましたが、あらたに、モンゴル語、カンボジア語を加え、同外国語専門科を有する大学（2 大学）に推薦を依頼、9 名の候補者を審査委員会での承認の上、合計 495 万円の助成を行いました。

[付属明細書 資料 7：語学留学生助成]

(6)外国人留学生助成

海外から日本に留学中で、国内外の情報通信の普及・発展、グローバル化に貢献する分野で研究を行っている大学院生を対象とし、指定する 43 大学に推薦を依頼し、38 名の候補者から、10 名（理系 7 名、文系 3 名）を選考し、合計 1,017.6 万円の助成を行いました。

[附属明細書 資料 8：外国人留学生助成]

(7)著書出版・海外学会等参加助成

情報通信の制度・政策の研究に関する著書出版・海外学会等参加への助成について、情

報通信に係る論文誌（Nextcom）の監修委員会での審査・選考の結果、著書出版助成について、2件合計400万円を、海外学会への参加助成について、1件17.5万円の助成をそれぞれ行いました。

[附属明細書 資料9：著書出版助成]

[附属明細書 資料10：海外学会等参加助成]

(8) 青少年啓発・育成活動助成

1) 夏休み科学実験教室

今年度より新たに2拠点（北海道大学、広島市立大学）を追加し、7月下旬から8月中旬にかけ、次の5大学に於いて公募による小学生・中学生・高校生を対象として実施された科学実験プログラムに対して助成を行いました。

◎北海道大学（未来を創り出すデータサイエンスに触れてみよう／中学生86名：130万円）

◎東北大学（たのしいサイエンス・サマースクール／中学生30名：150万円）

◎名古屋大学（テクノフロンティアセミナー／高校生48名：130万円）

◎広島市立大学（ひろしまコンピュータサイエンス塾／小学生・中学生44名：53.3万円）

◎九州大学（中学生の科学実験教室／中学生89名：130万円）

2) 中高生への即興型英語ディベートの普及

中高生に対し、即興型英語ディベートの普及活動を通し、論理的思考力、幅広い知識、プレゼンテーション力、コミュニケーション力を養うことにより、グローバル人材育成に寄与するPDA（一般社団法人パラメンタリーディベート人材育成協会）の活動を支援しました。特に今年度は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、ディベート大会の遠隔開催を促進するため、PCやwifiルーターの追加支援も実施し、合計221万円の助成を行いました。

2020年1月、11か国、約50名の生徒を集めて大阪で開催された世界交流大会では、KDDI財団の鈴木理事長が「Evolution of Telecommunication」をテーマに、キーノートスピーチを実施しました。

2. 表彰事業

公募による募集・審査の結果、『KDDI Foundation Award』は、10件の応募に対し、KDDI Foundation Awardとして2件合計400万円、KDDI Foundaton 奨励賞として3件合計150万円の贈呈を行いました。

[附属明細書 資料11：KDDI Foundation Award、KDDI Foundation 奨励賞]

3. 国際協力事業

(1) 開発途上国の人材育成に資する技術研修の実施

途上国における情報通信（以下、「ICT」という）の改善・拡充を担う人材育成のために、国際開発援助機関（APT：アジア・太平洋電気通信共同体）の計画に基づく個別研修（「サイバーセキュリティ技術 – 最近のリスク動向とその対策 –」）を実施しました。

また、これとは別に総務省計画「ミャンマー運輸・通信省職員の招へい研修」を実施しました。

2 コース合計で、アジア太平洋地域から 30 名の研修員を受け入れ、計 22 日間の研修を実施しました。

[附属明細書 資料 12：海外研修業務の実施状況]

(2) 国際会議への参加

ICT の先進技術・サービスの途上国における円滑な導入を支援することを目的とした ITU-D（国際電気通信連合 開発部門）、APT（アジア・太平洋電気通信共同体）等の主催する国際会議に出席し、財団実施の共同プロジェクトの実施結果、日本での最新通信技術・サービス動向や途上国に適した通信技術の提案・紹介を行いました。

(3) 開発途上国におけるデジタルデバイド解消プロジェクトの実施

開発途上国の経済発展の阻害要因となっている「デジタルデバイド」の解消に貢献するため、国際機関、関係国政府機関、関連組織/団体と連携して、ICT の普及・拡大のための人材育成やプロジェクトを実施しました。

APT の開発援助プログラムの枠組みにおいては、「ネパールの西部山岳地帯への地域広帯域網の構築と遠隔医療等への活用プロジェクト」並びに「タイ王国の標準化による緊急医療改善の実証」を完了するとともに、「モンゴル国の極寒などの厳しい自然環境下の過疎地への廉価な光ファイバーアクセス網のパイロット構築」を推進中です。これに続くプロジェクトとして、「ネパールのスマートネットワーク技術を活用した地方行政特化サービスの展開強化」並びに「ベトナムの洪水後の道路状況把握のため、GPS やデジタルマップ等の画像処理技術を活用した UAV (Unmanned Aerial Vehicle) システムの研究」に着手しました。また、自主プロジェクトとして、

「APNIC 財団共催のサイバーセキュリティ技術研修」や「ミャンマーのヤンゴンコンピュータ大学へのクラウドサーバ、ネットワーク機器と 5 大学へのネットワークサーバの寄贈」を実施して、大学教育環境への改善提案を実施しています。なお、今年度の「ミャンマー大学生向けアプリケーションコンテスト」については、ミャンマーコンピュータ連盟により本審査に進む 10 チームの選抜は実施したものの、2/19 に予定されていた本審査は新型コロナウイルスの感染拡大防止への配慮から中止としました。

[附属明細書 資料 13：開発途上国におけるプロジェクトの実施状況]

(4)政府依頼（総務省）に基づく調査研究業務の実施

総務省からの依頼に基づく調査研究業務は、今年度 1 件、ネパール国を対象に実施しました。

[附属明細書 資料 14：調査研究業務の実施状況]

(5)チャリティコンサート、スバエクトム公演開催とカンボジア、ミャンマー、ネパールにおける教育文化支援の実施

2020 年 3 月 4 日に予定していた通算 16 回目となる「チャリティ コンサート クラシック 2020（紀尾井ホール）」は新型コロナウイルスの感染拡大防止への配慮から中止としました。また、2020 年 2 月 22 日に KDDI 財団設立 10 周年を記念して開催を予定していたスバエクトム東京公演（ブリット記念ホール）も同様に中止としました。

財団活動のひとつの柱である「国際協力・途上国教育文化支援」として、カンボジアでは NGO World Assistance for Cambodia の協力の下、12 校目の KDDI スクールを建設したほか、各校での授業充実を図りました。ミャンマーでは NGO New Zero の協力の下、ビレッジスクールで、教育環境・内容の充実を目的とした支援活動を行いました。

ネパールでは、ラリトプール市・OLE ネパール（教育 NGO）・シティネット横浜・宮城教育大学の協力のもと、小中学生の論理的思考力の育成を目的に市内 7 校でロボットプログラミング教育を実施しています。これらの学校では併せて e ラーニングの環境も構築し国語・算数・理科・英語の授業で活用しています。また、新たに追加 3 校を選定しました（計 10 校）。

[附属明細書 資料 15：開発途上国における教育文化支援実施状況]

(6)N P O 支援

国際協力活動を幅広く展開する NPO の活動支援を目的に通信インフラ（サーバホスティングサービスなど）運用の資金を継続実施しました。2019 年度は、1 団体への支援を実施しました。支援先とその内容は以下のとおりです。

①ジャパン・プラットフォーム(WEB および DNS の運用支援)

4. ICT 普及事業

(1)「MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会」の実施

2019年度は、昨年に引き続き「MCPCモバイルシステム技術検定試験対策講習会」に並びに「IoTシステム技術検定試験対策講習会」を春、秋に実施しました。また、個別企業向けにも講習会を実施しました。

[附属明細書 資料 16：MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会の実施状況]

(2)国際コミュニケーション・フォーラムの開催

(公財) 情報通信学会との共催により、6 月と 11 月に国際コミュニケーション・フォーラムを開催しました。6 月のフォーラムにおいては、KDDI 田中会長による基調講演「5G 時代に向けた KDDI の取組み」が行われました。

(3)機関誌の発行

2019 年版財団機関誌 (KDDI FOUNDATION Vol.11) を 2,000 部発行し、大学等の教育機関、研究機関、財団関係者、最近の助成対象者などを中心に配布しました。

(4)「衛星通信年報」の発行

昨年度に引き続き、衛星通信・衛星放送分野の関係機関、民間会社からの寄付金が得られたことから、我が国の政策、事業活動、国際機関の活動等、国内外の動きをまとめた令和元年版の衛星通信年報を発刊いたしました。

令和元年版の衛星通信年報では、特集として、「災害時に有効な衛星通信ネットワークについて」を掲載いたしました。

5. 収益事業

「IPSTAR 衛星の日本における電波免許取得」に関する民間会社からの案件を 1 件実施いたしました。

本案件が次年度へ継続となりました。

[附属明細書 資料 17：国内コンサルティング業務の実施状況]

以 上

役員名簿

(敬称略・理事は五十音順、◎印は常勤)

(2020年3月31日現在)

財団役職	氏名	所属・職位
理事長	鈴木 正敏	株式会社 KDDI 総合研究所 主席研究員
専務理事◎	真鍋 博文	
理事	明田 健司	KDDI 株式会社 経営戦略本部経営企画部長
理事	江崎 浩	東京大学大学院情報理工学系研究科 教授
理事	大橋 弘	東京大学公共政策大学院副院長
理事	関根 千佳	株式会社ユーディット 会長兼シニアフェロー 同志社大学 客員教授
理事	野原 佐和子	株式会社イプシ・マーケティング研究所 代表取締役社長
理事	山内 弘隆	一橋大学大学院経営管理研究科 特任教授
理事	脇濱 紀子	京都産業大学現代社会学部 教授
監事	松永 幸廣	PwC 京都監査法人 マネージング・パートナー 公認会計士

評 議 員 名 簿

(敬称略・五十音順)

(2020年3月31日現在)

氏 名	所 属 ・ 職 位
内海 善雄	元国際電気通信連合 事務総局長
角川 歴彦	株式会社KADOKAWA 取締役会長
金子 郁容	慶應義塾大学名誉教授
姜 尚中	東京大学名誉教授、熊本県立劇場理事長兼館長、鎮西学院学院長
菅谷 実	白鷗大学経営学部客員教授、慶應義塾大学名誉教授
田中 孝司	KDDI 株式会社 代表取締役会長
児野 昭彦	日本放送協会 専務理事・技師長
辻 正次	神戸国際大学経済学部教授 大阪大学名誉教授、兵庫県立大学名誉教授・特任教授
土井 美和子	国立研究開発法人情報通信研究機構 監事 奈良先端科学技術大学院大学 理事
日比野 隆司	株式会社大和証券グループ本社 取締役会長兼執行役 大和証券株式会社 代表取締役会長
保坂 雅樹	西村あさひ法律事務所 執行パートナー 弁護士

審査委員名簿
(敬称略・委員は五十音順)

(2020年3月31日現在)

氏名	所属・職位	専門分野
委員長 森川 博之	東京大学先大学院工学系研究科 教授	IT 基幹ネットワーク
委員 泉 健太郎	株式会社 KDDI 総合研究所 執行役員	
加藤 寧	東北大学大学院情報科学研究科 教授	情報通信技術論
後藤 玲子	茨城大学人文社会科学部法律経済学科 教授	経済政策論・政策評価
眞田 幸俊	慶應義塾大学理工学部電子工学科 教授	ブロードバンド無線システム
穴戸 常寿	東京大学大学院法学政治学研究科 教授	情報法
関口 博正	神奈川大学経営学部 教授	規制産業の会計学
高田 潤一	東京工業大学環境・社会理工学院 教授	電波伝搬・電波応用計測
田中 俊昭	株式会社 KDDI 総合研究所 取締役執行役員副所長	
戸川 望	早稲田大学大学院基幹理工学研究科 教授	SoC 設計技術
中小路 久美代	公立はこだて未来大学システム情報科学部 情報アーキテクチャ学科 教授	インタラクティブデザイン
林 秀弥	名古屋大学大学院法学研究科 教授 同アジア共創教育研究機構 教授	経済法
湧口 清隆	相模女子大学人間社会学部社会マネジメント学科 教授	情報通信の経済政策

2019 年度事業報告の附属明細書

I 組織と運営状況

1. 組織

資料 1 会議の開催状況

II 事業活動

1. 助成事業

資料 2 調査研究助成

資料 3 社会的・文化的諸活動助成

資料 4 継続型社会的・文化的諸活動助成

資料 5 国際会議開催助成

資料 6 日本人留学生助成

資料 7 語学留学助成

資料 8 外国人留学生助成

資料 9 著書出版助成

資料 10 海外学会等参加助成

2. 表彰事業

資料 11 KDDI Foundation Award、KDDI Foudnation 奨励賞

3. 国際協力事業

資料 12 海外研修業務の実施状況

資料 13 開発途上国におけるプロジェクトの実施状況

資料 14 調査研究業務の実施状況

資料 15 開発途上国における教育文化支援実施状況

4. ICT 普及事業

資料 16 MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会
の実施状況

5. 収益事業

資料 17 国内コンサルティング業務の実施状況

会議の開催状況

1. 理事会

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 31 回	2019 年 5 月 21 日	(議案) 1. 2018 年度事業報告 2. 2018 年度決算報告 3. 第 16 回評議員会の招集および提出議題 (報告) 1. 職務執行状況の報告
第 32 回	2019 年 6 月 20 日	(議案) 1. 専務理事(代表理事)の選定
第 33 回	2020 年 3 月 18 日	(議案) 1. 2020 年度事業計画 2. 2020 年度収支予算 3. 2020 年度助成、 2019 年度 KDDI Foundation Award の 対象および対象者 (報告) 1. 職務執行状況の報告

2. 評議員会

回数	開催年月日	議案・報告事項
第 16 回	2019 年 6 月 14 日	(議案) 1. 2018 年度決算報告 2. 評議員の選任 3. 理事の選任 4. 評議員会運営規則の一部改正 (報告) 1. 2018 年度事業報告 2. 2019 年度事業計画及び収支予算 3. 組織改正 4. 理事会運営規則の一部変更 5. 職務執行状況の報告 6. 2019 年度日本人留学生助成について

3. 審査委員会

開催年月日	議題・報告事項
2019年9月2日	(議題) 1. 2019年度 KDDI Foundation Award の評価 2. 助成プログラム審査説明
2019年12月26日	(議題) 1. 2020年度助成プログラム総合審査 2. 承認案件 3. 今後の表彰・助成プログラムについて

調査研究助成

研究者	研究テーマ	研究期間	助成額 (千円)
吉田 悦章 よしだ えつあき 京都大学 大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 特任准教授	ICT 高度活用型金融業 が高める社会的厚生	2020年4月1日～ 2022年3月31日 (2年)	3,000
宮田 玲 みやた れい 名古屋大学 大学院工学研究科 助教	平易な文化財情報を執筆・翻訳する技術	2020年4月1日～ 2023年3月31日 (3年)	3,000
大木 良子 おおき りょうこ 法政大学 経営学部 教授	マルチホーミングの実態解 明と経済理論分析	2020年4月1日～ 2023年3月31日 (3年)	2,996
山田 駿介 やまだ しゅんすけ 東北大学 大学院工学研究科 ロボティクス専 攻 助教授	感覚受容体を模倣した 電力自立センサの開発	2020年4月1日～ 2022年3月31日 (2年)	3,000
須藤 克弥 すとう かつや 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 助教	安定した遠隔臨場感の ための体感品質制御	2020年4月1日～ 2023年3月31日 (3年)	3,000
三輪 忍 みわ のぶ 電気通信大学 大学院情報理工学研究科 情報・ネットワーク工学専攻 准教授	次世代大規模計算環境 における資源管理機構	2020年4月1日～ 2023年3月31日 (3年)	3,000
谷澤 健 たにざわ けん 玉川大学 量子情報科学研究所 准教授	高速物理暗号によるセキ ュア超長距離光通信	2020年4月1日～ 2022年3月31日 (2年)	3,000
久世 直也 くせ なおや 徳島大学 ポストLED フォトニクス研究所 特任准教授	マイクロ光コムによる次世 代無線・光通信	2020年4月1日～ 2022年3月31日 (2年)	3,000
田崎 豪 たさき つよし 名城大学 理工学部電気電子工学科	カメラによる自動運転用 三次元地図更新	2020年4月1日～ 2023年3月31日 (3年)	3,000
合計		9件	26,996

社会的・文化的諸活動助成

団体名	活動名称	活動時期 活動場所	助成額 (千円)
NPO 法人地球対話ラボ	被災地の子ども VR 対話～未知との出会いや ICT 体験が、未来へ進む力を生む	2019年4月1日～ 2021年6月30日 インドネシア・アチェ 気仙沼市	1,000
一般社団法人フリンジシアターアソシエーション	ICT×演劇ワークショップ『件の宣言』を用いた日韓の相互理解促進活動	2020年4月1日～ 2021年3月31日 京都市/ソウル/釜山	905
NPO 法人 World Theater Project	カンボジア農村部の子ども達への ICT 教育の普及～映画上映会を活用して～	2020年4月1日～ 2021年6月30日 カンボジア	795
一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会	インドネシアへの認定ドローンスクール制度導入とドローン操縦に関する安全教育活動	2020年4月1日～ 2021年3月31日 ジャカルタ市	1,000
合計		4 件	3,700

継続型社会的・文化的諸活動助成

団体名	活動名称	活動時期 活動場所	助成額 (千円)
NPO 法人 ASHA	ネパール地方部における医療情報管理システム導入・データ活用による医療の質向上支援	2020年4月1日～ 2022年3月31日 ネパール・ラジプール	2,000
合計		1 件	2,000

国際会議開催助成

申請団体	主催団体名	会議の名称	助成額 (千円)
IEA/AIE 2020 実行委員会	ISAI(International Society of Applied Intelligence)	インテリジェントシステムの応用に関する国際会議 IEA/AIE 2020	500
ACM SenSys2020/ BuildSys20 国際会議実行委員会	Association for Computing Machinery	第 18 回 ACM 組込みネットワークセンサシステム会議 ならびに第 6 回 ACM エネルギー効率の高い建物、都市および交通システム国際会議	500
DCASE 2020 Workshop 組織委員会	DCASE 2020 Workshop 組織委員会	Workshop on Detection and Classification of Acoustic Scenes and Events 2020 (DCASE 2020 Workshop)	500
ASP-DAC 2021 実行委員会	IEEE/CASS、 IEEE/CEDA、 ACM/SIGDA、 電子情報通信学会、 情報処理学会	アジア南太平洋設計自動化会議 2021/ASP-DAC 2021	500
APWCS2020 組織委員会	IEEE Vehicular Technology Society の Tokyo, Seoul, Taipei, Singapore チャプター-の共 催	17th Asia Pacific Wireless Communications Symposium 2020	300
2020 年アンテナ伝 搬国際シンポジウ ム実行委員会	電子情報通信学会通信ソ サイエティ	2020 年アンテナ伝搬国際 シンポジウム (ISAP2020)	300
YRP 研究開発推 進協会	国立大学法人岡山大学 国立研究開発法人情報通 信研究機構 YRP 研究開発推進協会	第 23 回無線パーソナルマルチメディア通信国際シンポジウム (WPMC2020)	200
AVEC '20 実行委員会	AVEC '20 実行委員会 一般社団法人自動車技術 会 神奈川工科大学	第 15 回先進自動車制御国際シ ンポジウム	200
合計		8 件	3,000

日本人留学生助成

助成対象者	研究テーマ	留学国 (予定)	助成額 (千円)
稲岡 美咲 いなおか みさき 大阪大学大学院 工学研究科 精密科学・応用物理学専攻 応用物理学コース 修士 2 年	ヒトの脳への遺伝子導入実 現に向けたナノボットと評価 用ヒト頭部モデルの研究	イギリス	4,800
上砂 考廣 かみすな たかひろ 大阪大学大学院 国際公共政策研究科 比較公共政策専攻 博士 2 年	東南アジアにおける汚職撲 滅の政治学	イギリス	4,800
合計		2 件	9,600

語学留学助成

助成対象者	留学先 専攻	助成額 (千円)
相川 理奈 あいかわりな 大阪大学 外国語学部外国語学科ビルマ語専攻 3年	ヤンゴン外国語大学 ミャンマー語学科	550
中村 彩 なかむら あや 大阪大学 外国語学部外国語学科ビルマ語専攻 3年	ヤンゴン外国語大学 ミャンマー語学科	550
鶴 杏佳 つる きょうか 大阪大学 外国語学部外国語学科ビルマ語専攻 2年	ヤンゴン外国語大学 ミャンマー語学科	550
小川 佳那子 おがわ かなこ 大阪大学 外国語学部外国語学科ビルマ語専攻 3年	ヤンゴン外国語大学 ミャンマー語学科	550
横井 友哉 よこい ともや 東京外国語大学 言語文化学部・言語文化学科・ビルマ語専攻 3年	ヤンゴン外国語大学 ミャンマー語学科	550
山本 哲史 やまもと さとし 東京外国語大学 国際社会学部国際社会学科・地域研究コース・ ビルマ語専攻 3年	ヤンゴン大学 ビルマ語	550
児玉 七海 こだま ななみ 大阪大学 外国語学部外国語学科日本語専攻 2年	モンゴル国立大学 教養学部	550
寺舘 大輝 てらだて たいき 東京外国語大学 国際社会学部国際社会学科モンゴル語専攻 2年	モンゴル国立大学 モンゴル語	550
伊藤 周 いたう あまね 東京外国語大学 言語文化学部・言語文化学科・モンゴル語専攻 3年	モンゴル国立大学 モンゴル語	550
合計	9件	4,950

外国人留学生助成

助成対象者	研究テーマ	国籍	助成月数	年間助成額(千円)
Le The Ha 横浜国立大学大学院 国際社会科学府 国際経済法学専攻 博士 1年	Towards International Regulatory Coherence in Digital Trade: Implications for the ASEAN	ベトナム	12	1,200
Akam Walvis Ebatei 上智大学大学院 グローバル・スタディーズ研究科 グローバル社会専攻 修士 1年	How Social Networks Contributes to Bring Migrants from West Africa to Japan.	カメルーン	6	600
Dansu Margaret Adesewa 東北大学大学院 理学研究科経済学研究科 修士 1年	The Dynamics of Social Capital in Nonprofit Organizations (NPOs)	ナイジェリア	12	1,200
Myagmardulam Bilguunmaa 長岡技術科学大学大学院 工学研究科材料工学専攻 博士 1年	UAV 活用に資する高信頼ワイヤレス伝送技術の研究開発	モンゴル	12	1,200
Seraj Ahmad Shahpoor 横浜国立大学大学院 理工学府数物 電子情報系理工学専攻 博士 1年	Secret Key Generation Based on Estimated Channel State Information Over Multitpath Fading Channel	アフガニスタン	12	1,200
Kargbo Morris Kensuke Abu 京都大学大学院 情報学研究科 博士 2年	Increasing patient information availability during Emergencies using a mobile socio-technical system	グレナダ	6	600
Maulana Hanhan 北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 博士 1年	visualization of agricultural data using geographic information systems to assist farmers in making decisions regarding commodity selection	インドネシア	12	1,200
Amrallah Amr Ahmed Hasan 東京工業大学大学院 工学院 博士 1年	AI-based Radio Resource Control and Optimization	エジプト	12	1,200
Kigsirisin Soraphon 熊本大学大学院 自然科学教育部 博士 1年	Economic Load Dispatch Optimization in Micro-Grid	タイ	12	576
Alam Md Iftekharul 東北大学大学院 理学研究科 博士 1年	Development of Chemical Identification Technique for Molecules Adsorbed on Field Effect Transistor Fabricated with 2D Layered Material.	バングラデシュ	12	1,200
合計		10件		10,176

著書出版助成

著者	著書名	出版時期	助成額 (千円)
関谷 直也 せきや なおや 東京大学 情報学環 准教授	東日本大震災と災害情報	2021年7月	2,000
須田 祐子 すだ ゆうこ 東京外国語大学 非常勤講師	データプライバシーの国際政治	2021年7月	2,000
合計		2件	4,000

海外学会等参加助成

参加者	参加学会名	開催期間・国	助成額 (千円)
CHEN Long-Huei チェン ローンホイ 東京大学 学際情報学府 博士課程	AsiaLex2019	2019年6月19日～ 2019年6月21日 トルコ	175
合計		1件	175

KDDI Foundation Award

受賞者	業績	副賞 (千円)
岡田 健一 おかだ けんいち 東京工業大学 工学院 電気電子系 教授	ミリ波無線機の集積回路化に関する 先駆的研究開発	2,000
曾我部 真裕 そがべ まさひろ 京都大学大学院法学研究科 教授	法分野としての情報法の確立可能 性に関する研究	2,000
合計	2 件	4,000

KDDI Foundation 奨励賞

受賞者	業績	副賞 (千円)
山下 直美 やました なおみ 日本電信電話株式会社・コミュニケーション科 学基礎研究所 特別研究員	家庭内環境の改善を通して在宅介 護の充実化を実現する ICT ツールの 開発と運用	500
姜 秉祐 かん びょう 一橋大学イノベーション研究センター 准教授	移動無線通信業界における標準必 須特許の技術戦略・知財戦略・政 策に関する実証研究	500
羅 芝賢 なじひょん 東京大学公共政策大学院 特任講師	国民番号制度の比較歴史分析	500
合計	3 件	1,500

海外研修業務の実施状況

契約先	コース名	参加国／人数	期間
APT (APT 計画 EBC-J)	サイバー セキュリティー技術	9カ国 10名	2020年2月12日 ～2月21日
総務省	ミャンマー運輸・通信省職員の招へい研修	ミャンマー 20名	2020年2月11日 ～2月22日

開発途上国におけるプロジェクトの実施状況 (その1)

実施国	概 要	
ネ パ ー ル	件名	西部山岳地帯への地域広帯域網の構築と遠隔医療等への活用プロジェクト (APT プロジェクト)
	実施期間	2018年1月～2019年5月
	メンバー	ICT4D(現地 NGO)、ネパール主管庁 (情報通信技術省、ネパール通信局)、ダル地方自治体、Global Plan Inc.、株式会社 OCC、KDDI 財団
	実施概要	西部山岳地帯 (ダル地方) に、低コストで構築できる光ファイバー網と WiFi を組み合わせた広帯域地域網を構築し、遠隔健診装置設置や教育・行政の ICT 環境を整備・改善した。
ネ パ ー ル	件名	スマートネットワーク技術を活用した地方行政特化サービスの展開強化 (APT プロジェクト)
	実施期間	2020年1月～2021年5月
	メンバー	ICT4D(現地 NGO)、ネパール主管庁 (情報通信技術省、ネパール通信局)、ダル地方自治体、NICT(情報通信研究機構)、Global Plan Inc.、株式会社 OCC、KDDI 財団
	実施概要	前 APT プロジェクトにて構築したダル地方の地域ネットワークの拡張と網の高信頼化、および災害情報の公報、遠隔健診の拡充及び行政アプリの拡大に着手した。
モ ン ゴ ル	件名	広大な過疎地域での生活向上のため、モンゴルの極寒地と砂漠地帯での低廉な光ファイバーアクセス網パイロット導入およびその耐久試験 (APT プロジェクト)
	実施期間	2018年12月～2020年7月
	メンバー	テレコムモンゴリアおよび CITA、地方政府 (3地区)、株式会社 OCC、KDDI 財団
	実施概要	広大な領土と過酷な自然の中での極寒地や砂漠などの過疎地域での生活向上に必須な広帯域アクセス網を廉価に構築する光ファイバー網を実証導入し、極寒地での耐久試験も実施している。

開発途上国におけるプロジェクトの実施状況 (その2)

実施国	概 要	
タイ王国	件名	標準化による緊急医療改善の実証 (APT プロジェクト)
	実施期間	2018年12月～2020年2月
	メンバー	NIEM(タイ王国緊急医療庁)、TOT、NSTDA、ゴレッタネットワークス、NICT(情報通信研究機構)、KDDI 財団
	実施概要	ひっ迫しているタイの救急医療をデータとフローなどの標準化による ICT によるシステム化することで改善するため、プロトタイプを開発し実証実験を実施した。
ベトナム	件名	洪水後の道路状況把握のため、GPS やデジタルマップ等の画像処理技術を活用した UAV システムの研究 (APT プロジェクト)
	実施期間	2020年1月～2021年5月
	メンバー	PTIT、ベトナム情報通信省、地方政府(カンナム州)、早稲田大学、KDDI 財団
	実施概要	多発する鉄砲水などの災害後の道路状況把握のため、UAV を活用してデータを収集し、解析することにより、正確な情報を取得する研究開発を着手した。
ミャンマー	件名	クラウドサーバ、ネットワーク機器とネットワークサーバの寄贈
	実施期間	2020年1月～2020年3月
	メンバー	コンピュータ・工科大 5 校 (ヤンゴンコンピュータ大学、情報通信大学、ヤンゴン工科大学、マンダレーコンピュータ大学、タウンジーコンピュータ大学)、KDDI 財団
	実施概要	APT および自主プロジェクトで構築した大学研究教育用クラウド環境を有効に活用するため、以下の寄贈を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤンゴンコンピュータ大学にクラウドサーバ及びネットワーク機器： 更なる拡張性を持たせるため、5 つめの大学として、ヤンゴンコンピュータ大学に分散クラウドサーバとネットワーク機器一式を実装する。 ・ストレージサーバ： 人財育成用 ICT 教材等を搭載できるストレージサーバをクラウドサーバを有する 5 大学に増設する。

開発途上国におけるプロジェクトの実施状況 (その3)

実施国	概 要	
ミ ャ ン マ ー	件名	APNIC 財団共催のサイバーセキュリティ技術研修
	実施期間	2019 年 9 月、2018 年 12 月
	メンバー	コンピュータ系工学系大学、APNIC 財団、KDDI 財団
	実施概要	ヤンゴンコンピュータ大学にて、APNIC 財団の講師によるサイバーセキュリティ技術研修を、ミャンマー国内で ICT 技術を担当する大学の先生方を中心に、2 回（9 月と 12 月に 5 日ずつ）実施した。

調査研究業務の実施状況

<p>ネパール連邦民主共和国における ICT 分野の海外展開に向けた調査研究の請負</p> <p>契約締結日 2020 年 2 月 3 日</p> <p>契約完了日 2020 年 3 月 31 日</p>	<p>「ネパール連邦民主共和国における ICT 分野の海外展開に向けた調査研究の請負」を総務省と契約締結し、以下の項目にかかる調査を実施した。</p> <p>(1) ネパールに関する基礎調査</p> <p>(2) ネパール進出日本企業の進出形態と活動状況</p> <p>(3) ICT 分野におけるニーズ調査及びネパール政府に対する提案策定</p>
--	--

開発途上国における教育文化支援実施状況

プログラム	概要
カンボジア教育支援 (KDDI スクール関連)	<ul style="list-style-type: none"> - 学校建設(1月) … Chamkar Doung II - 美術教室(1月) … Phom O - 音楽教室(Music Makes You Smile 出場)(6月) … Yeam Khao、Chamkar Doung - 音楽教室(オペラ鑑賞) … Sanlong (11月) - パソコン/英語教室開始(2019年度) … Khy Lek
カンボジア文化支援	Ty Chean 一座(伝統芸能スバエクトム影絵芝居一座)への影絵人形制作支援を実施した。
ミャンマー教育支援	<p>ミャンマーにおいては、昨年度に引き続き、NGO 法人 NEW ZERO のビレッジスクール(ペイネーコン村)の支援に加えて、隣村 Nyaung Dagar 村での支援を実施した。</p> <p>スクールでは、大人/子供向けの英語クラス、美術クラス、ダンスクラス、音楽クラス、パソコン教室を実施した。</p>
ネパール教育支援	ラリトプール市 7 校の教員向けにロボットプログラミングのメンタートレーニングを開催した(12月)。時間割への組込み、クラブ活動立ち上げ、作品発表会の開催など行われ、積極的に活用されていることを確認。新たに追加 3 校を選定した(計 10 校)。

MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会の実施状況（その1）

種別		コ ー ス 名	参加人数 (延べ数)	実施日
春 期	一般	モバイルシステム技術検定 1 級 試験対策講習会	45 科目・名	2019 年 5 月 11 日 (土) 5 月 18 日 (土) 5 月 19 日 (日)
		モバイルシステム技術検定 2 級 試験対策講習会	18 名	2019 年 5 月 25 日 (土) 5 月 26 日 (日)
		IoT システム技術検定試験 (基 礎) 対策講習会	16 名	2019 年 6 月 8 日 (土)
		IoT システム技術検定試験 (中 級) 対策講習会	19 名	2019 年 6 月 22 日 (土) 6 月 23 日 (日)
	個別	IoT システム技術検定試験 (中 級) 対策講習会 (4.5 時間)	50 名	2019 年 6 月 5 日 (水)
		IoT システム技術検定試験 (中 級) 対策講習会 (4.5 時間)	42 名	2019 年 6 月 11 日 (火)

MCPC モバイルシステム/IoT システム技術検定試験対策講習会の実施状況（その2）

種別		コース名	参加人数 (延べ数)	実施日
秋 期	一般	モバイルシステム技術検定 1 級 試験対策講習会	40 科目・名	2019 年 10 月 12 日 (土) 注 (注：台風のため中止) 10 月 19 日 (土) 10 月 20 日 (日)
		モバイルシステム技術検定 2 級 試験対策講習会	23 名	2019 年 10 月 26 日 (土) 10 月 27 日 (日)
		IoT システム技術検定試験（基 礎）対策講習会	5 名	2019 年 11 月 9 日 (土)
		IoT システム技術検定 （中級）試験対策講習会	18 名	2019 年 11 月 16 日 (土) 11 月 17 日 (日)
	個別	モバイルシステム技術検定 2 級試 験対策講習会	各回 約 40 名	2019 年 9 月 19 日 (木) 9 月 25 日 (水) 10 月 9 日 (水) 10 月 25 日 (金)
		IoT システム技術検定試験（中 級）対策講習会（4.5 時間）	11 名	2019 年 10 月 30 日 (水)

国内コンサルティング業務の実施状況

a. 「IPSTAR 衛星の日本における電波免許取得」に関する技術支援業務 (契約更新)	IPSTAR JAPAN 社から受注した「IPSTAR 衛星の日本における電波免許取得」に関する技術支援業務を実施した。本件は、契約更新により次年度へ継続される。
---	---